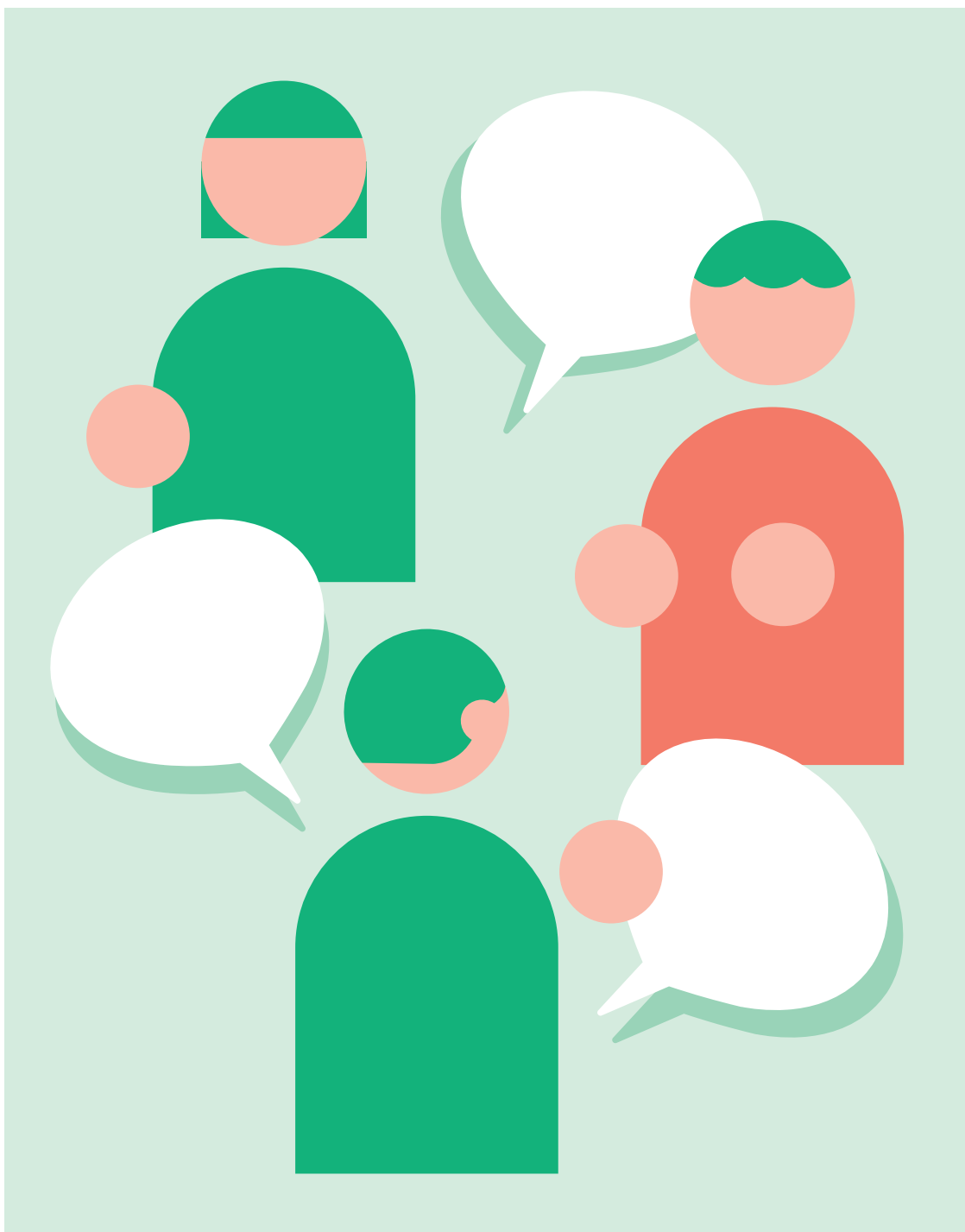




772

2024
2.22

うちの支部の“推し”研修会



NISSEIKAN NEWS 日精看ニュース

こころの健康を通して、だれもが安心して暮らせる社会をつくれます。

千葉県支部

集まれ 精神科看護経験1～3年ナース！

——「おしゃべり会」でネットワークづくりへ



千葉県支部では、2023年度から、精神科経験1～3年目の看護師が何でも気軽に話せる研修会に取り組みました。8月、11月の2回シリーズで、対面で実施。参加者は約30人と、2023年度の研修会のなかでは好評の研修会となりました。最初の2時間は、5、6人のグループに分かれて、自由に語る時間を取りました。あえてテーマは決めず、ファシリテーターも入らないなか、同じ境遇の仲間同士、病棟の様子や業務、患者さんへの対応で困っていることなど話題は尽きませんでした。その後は、参加者全員が一堂に会し、支部役員の進行のもと、各グループで話しあ

等身大の自分で語れる新人研修

うちの支部の “推し”研修会

たことを発表しました。発表の中で出される悩みごとに対しては、先輩である支部役員が自身の経験を振り返り、「自分なりの対処法」を伝えていました。日々、目標が見えづらいという悩みには「マンパワーが少ないので、『今年はまずこの人の退院を目標にしよう』と一ずつ取り組んで、うまくいきました」など、実感とともに語られました。

県内のつながりを大切に

2020年以降のコロナ禍で、当支部も研修会が開催できない期間が続きました。一方で、学生の実習もままならない施設も多く、新入職者のメンタルヘルス支援や離職防止、また精神科看護にやりがいをもってもらいたいという思いも募りました。

今回の研修会は新型コロナウイルスが五類に移行したこともあり、昨年、千葉県立保健医療大学と実習受け入れ施設との情報交換会の後、教員の小宮浩美さんに打診したところ話が進みました。そして、大学を会場に貸してもらい、参加費無料での開催が実現しました。

コロナ禍ではオンライン研修会に取り組んだものの、素人集団ではうまくいか



井口千春（いぐち・ちはる）＊写真前列左より2番目
日精看千葉県支部副教育委員長、継続教育部会委員
医療法人社団健仁会船橋北病院看護副部長
精神科認定看護師（千葉県）

ず、参加者から厳しい評価もいただき、参加者も激減。いろいろと模索が続きました。今回、あえて対面で実施し、「支部だからこそできる研修会は参加型、対話型の研修会だ」という実感をもちました。若い人たちが顔を合わせて悩みや「こんな看護をしたい」という思いを語りあうなかで、病院間のネットワークもでき、県全体で励みになっていく。何十年後も関係性が続いていく。そういう場をつくれるのが、私たちの支部研修会のよさだと感じています。

2024年度以降もバージョンアップを重ね、支部で卒後教育を継続してサポートしていきたいと考えています。

精神科看護の現場で活躍する支部役員が企画する、現場に根ざした各支部主催の研修会。今回はいくつかの支部に推しの研修会を紹介していただきました。みなさんも自支部や近隣支部でどのような研修会が企画されているか検索してみてください！

参加者の声から



- 当院には同期が一人もいないので、同じような経験をもつ人と気持ちや悩みを共有したいと思っていました。患者さんへの対応に正解はないかもしれませんが、自分のなかで大切なことを再認識できました。
- 一つの病院にしていると閉鎖的になってしまうと思い、参加しました。先輩方がどんなふうに目標をもって取り組んできたかを知り、自分の目標をもつことができました。
- 同じ立場の仲間と交流することで、自分とは違う視点を知り、解決につながりました。
- 総合病院精神科に勤務していますが、単科の精神科病院にも興味があり、参加しました。長期入院の患者さんに向き合う方の気持ちに触れ、大変参考になりました。
- ほかの病院と共通する課題や違いなどを聞くことができました。ぜひ病院に持ち帰りたいです。

私たちは日精看の「福島県県外避難者心のケア訪問事業」をきっかけに、広島県で避難生活を続ける当事者会「アスチカ」との交流を深めてきました。そのなかで当事者の方たちが、別の地域で災害が起こったときに社会福祉協議会が開設する災害ボランティアセンターに登録して支援活動をしていることを知りました。

私たちも2018年西日本豪雨で支援される立場を経験し、災害時に精神科看護が貢献できることがあると思いました。それをきっかけに社会福祉協議会との連携を考えるようになり、支部研修会で2023年度から社会福祉協議会の方を招いて研修を行っています。

今後、私たち精神科看護職は社会福祉協議会を知り、連携を深めることで、地域資源などのさまざまな情報を得ながら、さらに地域の人々の精神

的健康の維持にかかわっていききたいと考えています。

2024年度は社協が行っている貧困家庭の支援やヤングケアラーの相談活動について理解を深め、精神看護職ができることを考えていきたいと思っています。また、能登半島地震も起こったこともあり、災害弱者になりやすい障害者や患者さんの防災対策もテーマにした研修も、同じ日に行います。

そのほかの推しの研修会としては、宮本真巳先生を講師に招いて「異和感の対自化」の研修会を企画しています。

看護実習にも役立ててほしいので、広く看護学校の教員や臨床指導者にも参加を呼びかけているところです。近隣支部の鳥取県支部も同様の研修会を企画し、看護学生に声をかけようと考えているとのことでしたので、お互いに情報交換をしながら開催に向けて準備をしていこうと思います。



藤井陽子(ふじい・ようこ) *写真前列右
広島県支部教育委員長
医療法人社団緑誠会光の丘病院訪問看護主任
精神科認定看護師(広島県)

各都道府県支部の情報をキャッチ！ あなたの看護実践に役立ちます！

各都道府県支部の研修会は、日々の看護に役立つ知識・技術の習得や、地域のネットワークづくりに役立てられています。コロナ禍の影響を受け、まだまだ十分な体制を整えられていない場合もありますが、オンライン研修会を開催している支部もたくさんあります。近隣の支部や全国の支部研修会にご注目いただき、2024年度の受講計画にお役立てください。

マナブルにアクセスして、全国の支部研修会の 情報にアクセスしてみませんか？

支部研修会は準備が整ったものから順次アップロードされますので、定期的にご確認ください。

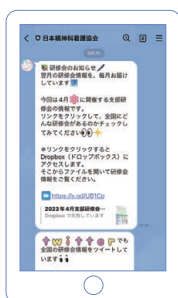


manaable
サイト

日精看公式 LINE でも
支部研修会のご案内
をしています。
ぜひご登録ください！



日精看
公式 LINE



茨城県支部

支部の人材や臨床実践を活かした研修会企画

—— 全国の仲間ともつながりながら

当支部は、地域に根ざした精神科看護の実践ができる看護職を養成することを目標に据えて、研修会を企画しています。

当支部で好評の研修会はビギナーズ研修(4回シリーズ)で、法制度や疾患別の看護、フィジカルアセスメントなど基本を学びます。2024年度はさらに事例や実践的な内容を豊富に取り込んで、初心者にとってより身近で実践的な研修にしていきたいと考えています。ビギナーズ研修の講師は、すべて県内の精神科認定看護師が中心となって担当します。県内の身近な病院の看護師が講師になることで、顔の見える関係づくりが広がっていくことも期待しています。

そのほか、行動制限最小化をテーマにした研修会でも、県内の病院の行動制限最小化委員会の方に実践報告してもらい、参加者同士で情報交換・共有していく予定です。また、今年は虐待防止にも力を入れたいと考えており、アサーションを学ぶことで患者さんへの対応などお互いに気づいたこと、感じたこと

を出しあい、受けとめあえる職場風土づくりに結びつけたいと思っています。

当支部では、コロナ禍以降は約8割の研修会をオンラインで開催しているため、県外の会員との交流も進んでいます。ぜひ、全国のみならずにもご参加いただきたいです。最近では少し参加人数が伸び悩んでいますが、今後も全国教育委員長会議や近隣の支部と情報交換し、サポートしあって、日精看ならではの魅力的な研修会をつくっていききたいと思っています。



飯泉祥生(いひずみ・さちお)
茨城県支部教育委員長
医療法人仁愛会水海道厚生病院看護主任
精神科認定看護師(茨城県)



日精看版ラダーの詳細はコチラから！

ラダーに表記された 各看護実践能力の共通理解

2018年よりクリニカルラダーを導入し、今年で7年目になります。もともとは看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）をベースにしていたのですが、日精看版ラダーが公表されたのを機に、既存のラダーに日精看版ラダーの内容を融合させていきました。

その方法として、日精看版ラダーに示された実践能力等の項目を1つずつ切り離し、既存のラダーにあてはめていくという作業を行いました。当院のラダーは主に主任会が運用を担当しているので、主任会で3つのグループをつくり、各グループで手分けをしてこの作業をくり返し行いました。

「この項目はこっちではないか?」「これはどちらにもあてはまるね」など、意見交換をしながら行っていたので、3か月くらいかかったと思います。しかし、この作業によってラダーに表記されている看護実践能力の各項目の意味することが評価者同士で共通理解でき、適切な評価につながっていると感じています。

お話をしてくださった方

中央：明間正人さん（看護部長）
左：木村敦子さん（看護主任）
右：五ノ井順子さん（看護主任）



病院DATA



医療法人昨雲会飯塚病院
（単科精神科病院）

【所在地】福島県喜多市
【病床数】360床（6病棟）
【看護職員数】看護師 73名
准看護師 65名

飯塚病院のクリニカルラダー ここがポイント！



新人看護職（精神科看護の初心者）の 成長を病棟全体で支援する

当院のラダーは、現在、新卒の看護職や精神科看護が初めての看護職を対象に、ラダーレベルⅠのみを稼働させている状況です。

ラダーを活用している看護職はグリーンファイルを持っています。そのファイルには学習内容やチェックリストが入っており、ファイルを開いて自分の実践力を確認しています。グリーンファイルを持っていると、先輩から「いま、どんな感じ?」「何か経験できてないことある?」と声をかけてもらったり、一緒にファイルの中身を確認したりしている様子を見かけます。ラダー

を導入してからは、プリセプターや教育担当者だけでなく、近くにいるスタッフがラダーと一緒に使いながら成長をサポートできるようになったと感じています。

ラダーの運用はまだまだ試行錯誤中ですが、中堅看護職の育成にも活用できるように準備を進めていきたいと思っています。



第30回 精神科看護専門学術集会 (in 埼玉) の 一般演題Bでラダーの企画をしました！

一般演題Bで当院のラダーを紹介しました。ラダーの運用について全国の方と同じような悩みや苦勞、評価方法、指導者の育成などの情報交換ができ、お互いに共感できました。これからは、ラダーを活用して質の高い看護が提供できるよう、人材育成に病院全体で取り組んでいきたいと思っています。



岩代 純（いわしろ・じゅん）
医療法人北仁会石橋病院 副看護部長（教育担当）、精神科認定看護師、
日精看継続教育部会委員（北海道）

グリーンファイルをきっかけに、病棟全体が看護師個々の看護実践に関心を向けるという環境が素晴らしいですね。



学術集会論文の
提出に関する
情報はコチラから！

#16 論文（先行研究）を読むことの大切さ



木戸芳史(きど・よしふみ)
浜松医科大学医学部看護学科 教授
日本精神科看護協会 業務執行理事(静岡県)

気づいてみれば、1年にわたって「論文の読み方」についてお話ししてきました。ここまで長く「論文を読むこと」に焦点をあてたのは、「研究をすること」と同じくらい「論文を読むこと」に価値があるからです。臨床実践に役立てるという視点で考えると、新しい研究をするよりは、論文を読むことのほうが取り組みやすく、ずっと実践に活かしやすいのです。

たとえば「この病棟では退院後にすぐ再入院される患者さんが多い。再入院を減らす方法はないだろうか？」ということが部署の課題だとしたら、①データベースから文献を検索し（#4～7を参照）、必要な文献を集めてみんなで分担して読む、②これまでされてきた実践（事例報告）やエビデンス（研究）を整理してまとめる、という作業をしてみたいかがでしょう。

①については「検索」と「収集」までは研究担当者で行い、

読む作業はできるだけ多くのスタッフに分担してもらい、論文に書かれていた内容を発表してもらってはいかがでしょうか。

研究担当者からは「担当者以外の誰も興味をもってくれない」という悩みがよくあげられますので、研究担当者以外に「参加している」という意識をもってもらうことはとても大切です。テーマについて病棟全体で興味をもってもらうとともに、文献を読むことでアップデートされた知識を病棟全体の看護に活かすことができるかもしれません。

こういった「研究開始前のプロセス」だけでも、スタッフの知識向上に十分につながることに気づきませんか？

今回は、②に関連して「論文をまとめることを研究にする」レビュー論文についてお話ししましょう。

地域
事業所編

地域から届けます！ 精神科看護師のメッセージ



第2回 自分らしい生活の獲得に向けて

いま、地域で働く精神科看護師が増えています。みなさん、どのようなことを大切にしながら実践しているのでしょうか。

訪問看護の
情報は
コチラから！

長期入院患者さんを受け入れて
当事業所は2022年4月から定員7名の共同生活援助(グループホーム)の運営をスタートしました。現在は定員16名まで増員し、2023年5月から就労継続支援B型も開設しています。当事業所の特徴は、精神科病院から長期入院患者さんの受け入れが多いことです。このような特徴をもつ当事業所では、利用者の主体性を大切に、日々の支援を行っています。利用者自身の日常生活に対するニーズを明確にし、実現するために必要な情報提供、メリット・デメリットの提示を通して時間をかけて語りあい、責任をもって自己決定してもらっています。そのうえで、自らが行動し自分が望む生活を獲得してもらっています。その決定によって失敗をすることもありますが、失敗のなかから次につながる学びと気づきを得るための対話を行っています。また、医療機関と密に連携して、外来担当医師や精神保健福祉士、病棟看護師と体調の変化、内服薬の服用状況、日中活動状況など必要に応じた情報提供や、通院同行、情報提供書の通知などを行っています。医療機関からも外来受診時の様子や、内服薬の服用に関する説明や指示などの連絡をもらったりと、医療機関と福祉施設間における連携体制を構築しています。



地域事業は医療機関とは違う苦労や大変さがありますが、利用者の笑顔がたくさんあふれる素敵な場所です！



中山 晋(なかやま・すすむ)
is-assist株式会社 代表取締役
精神科認定看護師(茨城県)

くための一助になっているのではないかと考えています。それが私たち事業所スタッフのやりがいにつながっていると感じています。

医療・福祉の一体化支援実現に向けて
当事業所がある茨城県取手市は、近年、医療・福祉サービスの充実がはかられています。支援が届かない方もいます。今後も、医療機関をはじめ、行政機関、相談支援事業所と連携をはかりながら、地域が求めるニーズに応えられるように、活動を続けていきたいと考えています。そして、医療・福祉の一体化支援を実現できるよう、新たな道を切り拓いていこうと考えています。

精神科認定看護師実践報告

精神科認定看護師は全国のさまざまな施設で、質の高い看護実践に取り組んでいます。
その現場での実践内容を紹介します。
＊なお、倫理的配慮として個人が特定されないよう、事例には改変を加えています。

精神科認定看護師 JOURNAL

外来看護相談の取り組みの背景

当院の精神科は急性期治療病棟60床を有し、私は一般科病棟、救命センター（3次救急）に対して精神科リエゾンチーム活動を実施しています。また、法人内にデイケア以外の社会復帰施設をもっていないため、地域のさまざまな機関と連携をとり、在宅生活を支援するために外来看護相談を行っています。

当院の外来では、外来看護師が医師の診療に伴う支援や多職種にたぐ役割を果たしてきました。しかし、外来の限られた診察時間では問題の解決方法や対処方法まで話すことができず、医師の診察を求め続けたり、自宅での生活や対人関係に困難を抱えたりするケースがあります。そのため、2014年より、外来受診時等に看護相談の時間を設けて対応しています。

療養生活継続支援加算を活用した実践

2022年度の診療報酬改定により、療養生活継続支援加算が精神科認定看護師や精神保健福祉士によって算定できるようになりました。当外来でも必要性のあるケースへの支援をより充実させたり、これまでかかわりのなかったケースを見出して支援するために、精神科認定看護師による算定を

開始しました。現在は月に10件程度をケアマネジメント（面接やケア会議の実施、支援機関への連絡等）し、算定しています。対象者は算定基準に該当するケースとなりますが、①入退院をくり返している（症状マネジメントが必要）、②医師との連携がより必要、③自殺企図後の再企図防止、が多くを占めています。

また、支援機関の関係者への報告を積極的に行うことで、在宅支援者との連携が強まっています。

効果としては、入退院をくり返すケースが一定期間の在宅期間を保つことができ、きちんと自分の目標をもって入院できるようになったり、自殺の再企図が1年以上は防げるようになったことなどがあげられます。そして、入院の際には病棟と情報を共有して入院前から介入し、入院時の担当者会議を設定するなど、退院に向けて早期から在宅生活を見すえた入退院支援を展開することが可能となっています。

今後の課題

今後は、誰に支援が必要なのかを抽出し、評価するシステムを整えていくという課題があります。また、多様なニーズに対応できるように、精神科認定看護師だけでなく外来看護師による療養生活環境整備支援加算等で看護外来（相談）を充実させるための体制を構築していくことも課題だと考えています。



武田直子（たけだ・なおこ）
社会医療法人近森会近森病院総合心療センター
精神科認定看護師（高知県）〈2011年度登録〉

日精看の退院調整の研修会に参加して、いきいきと活動を伝える精神科認定看護師講師の姿や受講生の熱い志にふれ、精神科認定看護師をめざしたいと考えました。



精神科認定看護師制度
ガイドブックや過去問題
集など情報満載

INFORMATION

精神科認定看護師制度

目で見てわかる！

2025年度 精神科認定看護師制度改正のポイント！ PART 2

前号に引き続き、精神科認定看護師制度の改正点をお伝えします。

1. 受講資格審査

出願要件は、現行制度と同じで、変更はありません。

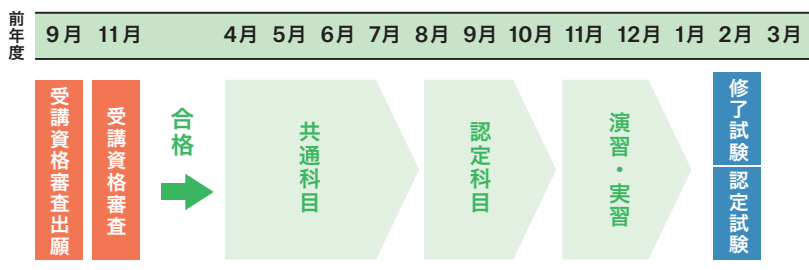
受講資格審査の出願要件

看護師免許取得後
5年以上

精神科看護経験
3年以上

2. 受講スケジュール

4月に開講し、共通科目、認定科目、演習・実習の順に学んでいきます。
原則として単年度で受講します。



3. 学習方法

●共通科目、認定科目の場合

【オンデマンド配信】

指定された期間内に、1日3時間程度、視聴

【ライブ配信】

指定された日にZoomで受講

【集合研修】

指定された日に協会事務局内の東京研修
会場で受講（最寄駅：品川駅）

●演習・実習の場合

- ・自施設における演習
- ・協会指定実習施設における実習
- ・科目担当講師、精神科認定看護師など
による指導

●その他

- ・科目によっては、受講の要件があります。
- ・すべての科目において、課題レポート
の提出、またはテストにより単位認定
を行います。

4. 新カリキュラム

精神科認定看護師教育課程の新カリキュラムは770時間の課程で、共
通科目、認定科目、演習・実習から構成されています。

精神科認定看護師教育課程 新カリキュラム(案)

共通科目	時間数	認定科目	時間数	演習・実習	時間数
臨床病態生理学	40	精神科看護における看護倫理	15	総合演習	30
臨床推論	60	コンサルテーション論	15	臨地実習Ⅰ	135
フィジカルアセスメント	60	意思決定支援	15	臨地実習Ⅱ	45
臨床薬理学	60	教育論	15		
疾病・臨床病態概論	55	精神科看護に関連した法規と制度	15		
医療安全学／ 特定行為実践	60	ライフサイクルとメンタルヘルス	15		
		看護マネジメント論	15		
		看護研究	15		
		精神科看護学	15		
		精神科医療の治療を支える技術	30		
		安全を守る技術	15		
		地域生活を支える技術	15		
		リエゾン精神看護	15		
		関係性を築く技術	15		
小計	335	小計	225	小計	210
総時間数					770

注：本教育課程の受講のみでは特定行為研修修了者にはなりません。

精神科認定看護師を めざす方のための説明会

この説明会では、新制度の概要や精神科認定看護師の実践報告、看護管理者としての
活用方法など、幅広い内容の情報提供を行います。ぜひご参加ください！

【開催日】2024/6/1(土)

【参加費】無料

【開催方法】ハイブリッド

【申し込み方法】3/1(金)よりマナブルにて申し込み開始



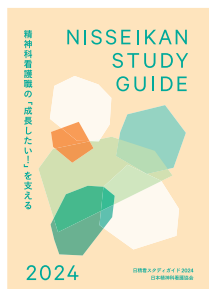
研修会 PICK UP !

■「日精看スタディガイド 2024」 をお届けします！

今号の『日精看ニュース』とともに、「日精看スタディガイド 2024」をお届けします。

スタディガイドは、研修会のラインナップのご案内だけでなく、たしかな看護実践能力をもつ精神科看護職の成長を導くガイドブックとして活用できる内容となっています。ぜひ、ご自身の精神科看護職としての成長を支える1冊としてご活用ください。

また、特別付録として「日精看版ラダー」のポスターを各施設に数部ずつ同封しています。各部署に掲示したり、会議室のテーブルに広げて教育計画の検討時に参照するなど、職場のみなさんでご活用ください。ポスターの裏面には、日精看クリニカルラダーの概要も掲載しております。併せてご覧ください。



「日精看スタディガイド 2024」 活用しやすいポスター

■ 2024 年度の研修会申し込み ～ご登録をお願いします！

日精看の研修会（本部・支部）へのお申し込みには、お一人ずつ「manaable（マナブル）」の利用登録が必要です。利用がはじめての方は、新規登録が必要です。

2023年度会員の方（退会届を提出された方は除く）と2024年度新規会員の方は、会員価格で受講が可能です。2023年度会員の方は、受講開始までに2024年度の会費の納入をお願いします。2024年度の新規入会の方は、会員証が手元に届いてから研修会にお申し込みください。登録手続きや利用方法は、日精看オンラインでマニュアルをご参照ください。

＜さまざまな方法でセット研修を活用！＞

2024年度もオンデマンドのセット研修を準備しました。セット研修の活用方法はさまざまです。今回はセット研修の活用事例をご紹介します！

活用例 セット①【はじめての精神科看護】を 院内の新人研修として活用する

NO	研修会	研修時間
2	精神保健福祉法の基礎知識	90分
5	精神科看護に必要な心構えと態度・倫理の基礎知識	120分
16	対象者の理解とニーズの把握につなげる観察と記録	120分
48	看護に活かすストレスマネジメント	90分
56	行動制限最小化看護の基礎知識と看護の実際	90分

受講料：会員9,350円（税込） 非会員18,700円（税込）

個別にオンデマンド研修受講後に 集合研修を開催

※例：セット研修のうち『精神保健福祉法の基礎知識』をテーマにした場合

5～6月 個別オンデマンド受講



7月上旬 課題に取り組む（個人ワーク）

【課題例】

- ・精神保健福祉法にもとづく入院形態にはどのようなものがあるか
- ・行動制限についてどのような規定がされているか
- ・虐待防止に向けてどのような規定がされているか



7月下旬 集合研修（グループワーク）

【テーマ例】

- ・精神保健福祉法の基礎を学び、患者さんの人権や処遇について、どのような点に配慮しながら看護実践に取り組もうと考えたか





学術集会の
情報は
こちらから！

INFORMATION

学術集会

第49回 日本精神科看護学術集会in 熊本のご案内

会期：2024年6月28日(金)～29日(土)

会場：熊本城ホール(桜町バスターミナルより徒歩1分)

事前申込期間：2024年4月1日(月)～5月10日(金)

基調講演

看護は、疾病や障がいとともに暮らす人々ができるだけ自立して、「生活の質」を維持し、尊厳をもってその人らしく生活できるように支える。病状や障がいの悪化予防と「生活の質」の観点から、本人や家族の意思を尊重しながら、暮らしを支える。多くの関係者によって医療やケアを提供するため、質の高いマネジメントが暮らしの場の療養を支えるためには欠かせない。

このような状況にあって、最善のケアを提供することができる、精神科看護の人材育成についてともに考える機会としたい。

申し込み方法は日精看オンライン

「学術集会ページ」をチェック！



福井トシ子
(ふくい・としこ)

2010年7月日本看護協会常任理事、2017年6月日本看護協会会長就任、2023年6月7日日本看護協会会長任期満了退任。2023年6月8日国際医療福祉大学大学院 副大学院長就任、2023年福島県大玉村名誉村民。

診療情報管理士、経営情報学修士、保健医療学博士。

ちょこっとプログラム情報

第4回を迎える「精神科看護 CONGRESS」にご期待ください。厚生労働省より、精神保健福祉法の改正・診療報酬改定、日精看より精神科病院における障害者虐待防止の手引き、精神科認定看護師制度、看護管理職の人的資源開発など、いままで以上に深化されたテーマをご用意しています。

また、通常通り、研究等の発表やワークショップ、交流セミナーも実施します。新たなアイデアや洞察を得るだけでなく、他施設の方々との新たなつながりを築くチャンスです。

さらに、6/28(金)のプログラム終了後には、アットホームな雰囲気の中で楽しい時間を過ごせるよう、会場の一部を利用して茶話会を開催します。久しぶりに参加者で集い、新しい出会いがあること間違いなし！詳細情報は4月号で！

ご当地情報

みなさん、はじめまして。
日本精神科看護協会熊本県支部です。



熊本城



▲ インスタグラムはこちら！
@NISSEIKAN_KUMAMOTO

2024/6/28(金)～29(土)に、第49回日本精神科看護学術集会が開催されます。みなさんの実りある学術集会となりますよう、熊本県支部一同、準備を進めてまいります。会場でお会いできることを心より楽しみにしています。

開催までの期間、インスタグラムで火の国くまもとの魅力を存分にご紹介していきたいと思います。ぜひご覧ください。



サクラマチクマモト



くまもんスクエア

© 熊本観光連盟

能登半島地震で被災された方に 心よりお見舞い申し上げます

1月1日に発生した、能登半島地震で被害にあわれた会員とご家族・親族の皆様には心からお見舞い申し上げます。今回の地震は元旦の発生ということもあり、北陸方面への帰省中に地震に遭遇された方も多かったのではないのでしょうか。私自身も岡山市内に帰省中でしたが、地震の揺れに驚き、すぐさま震源地を確認しました。これだけ距離がある岡山市内での揺れを考えると、震源地の被害が甚大であることが想像されました。

地震発生直後より、災害派遣精神医療チーム(DPAT)を派遣する都道府県が増えていきます。現地での支援に尽力されている精神医療チームの皆様と、チームの一員として派遣されている看護職のみなさんには深く敬意を表します。

また、地震発生直後から支援協力の声をあげてくださった日精看支部もたくさんありました。私たち日本精神科看護協会としてできることを検討し、全国の会員の皆様に「災害義援金」を呼びかけることにしました。義援金の受付方法は日精看オンラインなどに掲載していますので、ご協力いただきますようお願いいたします。

能登半島地震における義援金についてお願い

被災された会員の方への支援として、義援金を募りたくお願い申し上げます。募金方法は、以下のとおりです。

【受付期間】2024/3/31(日)まで

【振込口座】銀行名：三菱UFJ銀行
支店名：浅草橋支店 店番069
預金種目：普通預金
口座番号：0017839
口座名義人：一般社団法人日本精神科看護協会(イッパンシャダンホウジン
ニホンセイシンカカンゴキョウカイ)

※大変恐縮ですが、振込手数料は別途ご負担ください。



吉川隆博
(きっかわ・たかひろ)
日本精神科看護協会
会長

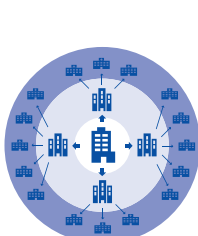
す。会員の皆様からお預かりした義援金は、能登半島地震で被害を受けた会員の皆様の生活を支援するために送ります。

精神障がい者への適切なケアを行うための 倫理教育推進事業について

日精看では2024年度から、看護職の倫理教育研修を全国共通の教育内容で実施します。倫理教育研修の特徴は、精神科看護職の倫理綱領の意味を理解し、倫理的感受性を養うことはもちろんですが、看護職に求められる倫理の大半は専門的技術と相関していることから、看護技術として習得することを目的としています。「これからの精神科医療機関の医療サービスは、看護師が席巻していく!」という気持ちで、会員の皆様とともに本事業を展開していきたいと思ひます。

【事業のアウトカム】

精神科医療機関密着型の教育事業を推進し、
1年間で30,000名の倫理教育修了者を輩出します。



本部主催
倫理教育研修講師育成研修会
全国規模で質の高い看護師を育成



支部主催
看護倫理指導者養成研修会
都道府県単位で看護師の指導力を強化



所属施設内の研修会
各施設の組織風土の醸成を図る

「精神科病院における障害者虐待防止の 手引き」を作成しました

精神科医療現場における障害者虐待防止の具体的な取り組みの一環として「精神科病院における障害者虐待防止の手引き」を作成いたしました。本手引きは、精神科医療機関の障害者虐待防止に向けた準備や適切な対応に役立てていただける内容になっています。多くの関係団体にご協力いただき、作成した手引きですので、ぜひご活用ください。

【手引き内容の一部をご紹介します】

- 精神科病院における「障害者虐待」とは
- 精神科病院における虐待防止措置
- 精神障害者への虐待の判断
- 障害者虐待を未然に防止するための体制整備
 - 1) 精神科病院における障害者虐待防止チェックリストの活用
 - 2) 精神科病院における業務従事者に対する研修
 - 3) 患者や業務従事者が利用できる精神科病院内の相談窓口の設置
- 虐待防止委員会の設置と機能
- 精神科病院の通報義務と対応

愛知県支部が表彰されました！

2023年5月よりCOVID-19感染症が5類となり、さまざまな制限が緩和されました。しかし、2021年厚生労働省資料によるCOVID-19治療薬処方説明文書に、「重度の精神疾患」が含まれているように、精神科病院内では患者の安静確保が難しくクラスターを起こすリスクが高いため、COVID-19感染クラスターが現在でも発症しており、感染対策の継続を強いられています。

そのようななか、2023/10/22、新型コロナウイルス感染症対策における協力団体等への感謝状贈呈式が行われ、愛知県知事より当協会愛知県支部が感謝状をいただきました。

これは、支部会員のみなさん、県内精神科で従事する皆様に献身的にご尽力いただいたことが評価された結果です。すべての方々に心から感謝いたします。本当にありがとうございました。

今後も感染の急拡大を防止するために引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

野中英雄 (のなか・ひでお) 愛知県支部長



今年もやります！2024年度 「にっせいかんフォトコンテスト」

昨年度から新たに始まった「にっせいかんフォトコンテスト」を今年も開催することとなりました。当事者の方々の素敵な写真がありましたら、ぜひご応募ください！

詳しい応募要項は日精看オンラインの「トピックス」にあるチラシをご確認ください。

【応募期間】2024/2/19(月)～5/19(日)



日精看ニュース No.772 2024(令和6)年2月22日発行

編集：鈴木 庸、宮本恵理子 / デザイン：TAKAIYAMA inc. / 運営：コッヘル / 発行人：吉川隆博 / 発行者：一般社団法人日本精神科看護協会
日本精神科看護協会 〒108-0075 東京都港区港南 2-12-33 品川キャナルビル7F
TEL 03-5796-7033 / FAX 03-5796-7034 / E-MAIL info@jpna.or.jp

「日精看ニュース」偶数月22日発行 | 1部200円+税 ©日本精神科看護協会 2024 | 本誌記事、写真、イラストの無断転載を禁じます

「第3回白良浜 de ひらひらTシャツアート展」 に日精看も参加しました

2023/11/3(金)～6(月)に和歌山県白浜町の白良浜(しららはま)で開催された「白良浜 de ひらひらTシャツアート展」に、日精看も「日精看こころの日事業」の一環として参加しました。このイベントは、障がい者アートと障がい者の就労支援をコラボレーションした企画となっており、白良浜へ展示することで障害への理解啓発および地域交流をめざしています。写真は紀南こころの医療センターの方にご撮影いただきました。ありがとうございました！



2023年度 理事会報告

2023/5/21、6/24、7/15、9/2、11/11、2024/1/20にオンラインで理事会を開催しました。2023年度は役員改選もあり、新たに2名の新理事を迎え各事業における検討が活発に行われています。特に2023年度の活動方針である精神科看護職の倫理的課題解決については、学術集会を通して気づきや学びができるための主題・プログラムの内容の検討、本部と支部との連携を意識した研修会事業の展開、他団体と協同した取り組みなど多くの検討を重ねてきました。また、診療報酬改定への要望などは担当理事が参画する委員会で検討され、理事会で審議し進められています。精神科認定看護師制度改正については、精神科認定看護師の意見も取り入れながら教育認定委員会などで検討を重ね理事会で最終審議を行っています。

特にここ数年の会員減少については、さまざまな事業を通して魅力ある職能団体として知っていただくことが入会促進につながるのはもちろんのこと、組織強化については継続的に議論することが必要と考えております。引き続き会員の皆様にとって日精看の活動がよりよいものになるよう、検討を行ってまいります。

「日精看オンライン」は
パソコンでもスマホでも

→ jpna.jp



支部クロストーク

北海道支部 × 兵庫県支部

Online Crosstalk vol.2



兵庫県支部
教育委員長
安座間愛珠 さん

兵庫県神戸市出身。循環器科勤務を経て、精神科単科の医療法人敬性会神戸白鷺病院。支部活動には2018年より教育委員として携わり、2023年4月より教育委員長を務める。



北海道支部
教育委員
中村圭佐 さん

北海道釧路市出身。2009年に札幌医科大学保健医療学部看護学科を卒業後、大学病院、大学助手勤務などを経て、医療法人社団林下病院に入職。現在、病棟看護師として在籍中。支部活動には2019年より携わる。

安座間 私の教育委員歴は5年で、この間にコロナ禍での研修会運営の苦労も経験してきました。北海道支部では研修会を早期にオンライン化できたそうですね。

中村 北海道は広域であるという特性上、もともと支部役員が各地から集まることの時間的・経済的コストが課題だと感じていました。新型コロナウイルス感染症拡大によって施設間移動が困難となったことを機に、2020年初頭にまず支部会議をオンライン化しました。私の前職が大学職員でしたので、パソコン操作にも比較的慣れていたんです。

安座間 私たちはまったく不慣れで四苦八苦でした。配信を始めて20分間も音声が止まって冷や汗をかいたり…正直、逃げ出したくなる状況でした。クレームの電話を受けながら、「このままでは会員さんに申し訳ない」と日精看本部に相談したんです。すると兵庫まで来てくださって、実際の研修会の配信に立ち会って助けてくださったのはありがたかったですね。製薬会社さんに質問したり、他支部のオンライン研修会に参加して勉強したり。いろんな人に頭を下げて習得していききました。

中村 素晴らしい行動力ですね。5類になって以降の研修会は、どういう形式で実施していますか？

安座間 北海道ではハイブリッド形式が定着しました。兵庫でもハイブリッド形式は継続していきます。一方で、グループワークや交流の満足度は圧倒的に集合型が高いので、2024年度は

集合型も再開する予定です。

中村 研修のテーマや目的に応じて、柔軟に選ぶというのでしょね。研修会の開催場所についても、毎回同じ場所ではなく、旭川、帯広、函館など講師の在住エリアや研修テーマに応じそのつど変えてもいいのではないかと検討中です。北海道は広いので、いろんなエリアの会員さんが参加しやすい機会を創出できたらと。

安座間 いいですね。研修会のテーマや講師の選定については、どういう方法をとっていますか？

中村 前年度の実績や日精看本部の方針をもとに年間スケジュールを組み立てた後、2〜3人の小チーム担当制で詳細を詰めていきます。講師の選定については、精神科認定看護師に相談したり、講師の先生に隣接領域の専門家を紹介していただいたりしています。

安座間 小チーム担当制っていいですね。研修会運営には苦労もありますが、私たち自身が楽しむことも大事。せっかくだから、講師の方をランチにお誘いして親睦を深めています。講師の方に気持ちよく過ごしていただけることも、研修会の充実につながるはずなんです。

中村 おっしゃるとおりです。

安座間 受講者の満足度が高かった研修会や講師の情報を伝えあうなど、都道府県間の連携もつとできるいいなと思いました。

中村 たとえば冬の寒さが厳しい東北の災害支援の取り組みは、北海道でも役立つはずですからね。今度、支部長にも提案してみます。もう一つ、私は他職種を巻き込んだ研修会にもチャレンジしていきたいと思っています。これから地域医療が進む流れの中では看護の知識だけでは解決できない課題は増えるはずですので。心理士や保健師の方々も参加したくなる研修会も企画してみたいと思っています。

安座間 まだまだできる工夫はたくさんあります。ですね。参考になるお話をありがとうございました。

中村 こちらこそ。お互いがんばりましょう！

各地の都道府県支部で日精看の活動を盛り上げるキーパーリングが、オンラインでつながって情報交換。対話の一部を公開します。

東洋羽毛は看護職に
寄り添います

vol.15

上質な羽毛ふとんを長く使う
クリーニング&日常ケア

軽くてあたたかい羽毛ふとんは、快適な眠りのためのパートナー。しかし、長年の使用で汗や皮脂が付着すると、ふわふわの質感が損なわれてしまいます。掛けふとんは5年おき、敷きふとんは3年おきのクリーニングがおすすめです。掛けふとんは、定期的に日干しをし、敷きふとんは、起床後に壁に立てかけて裏面を空気に触れさせることで、ふとんの中の湿気を取り除き、ふんわりと気持ちよくお使いいただけます。



このコーナーでは、創立当初から「快適な眠り」を追求してきた東洋羽毛の知見から、お役立ち情報をお届けしてまいります。こころをケアする看護職の皆さまの健康的な生活に貢献できましたら幸いです。

お問い合わせ先／お客様相談室（フリーコール）0120-410840